

宇美町人権問題啓発講演会

あきらめない生き方

～夢を持ち続けて～



時速40キロを腕で漕ぐ、
車いすマラソン
アスリートランナー
山本 浩之さん

プロフィール

20歳の時、バイクによる事故で車いすの生活に。
リハビリ目的で始めた車いすバスケットから
10年後、車いすマラソンに転向。
車いすマラソンの大会に出場するようになり、
秘めていた才能を発揮する。

経歴

2008年 北京パラリンピック出場 フルマラソン6位入賞
2012年 ロンドンパラリンピック出場
2013年 ボストンマラソン 優勝
2012～2015年 4年連続大分国際車いすマラソン総合2位(国内1位)
2016年 大分国際車いすマラソン 優勝
2016年 リオデジャネイロパラリンピック出場
2018年 東京マラソン 優勝
(過去に2010年、2012年、2014年も優勝)

「障がい者からの人生が面白い」
と山本選手は話す。

日本だけではなく、世界の道を走る
アスリートランナー。

彼が乗る競技用車いすは、ホンダが
F-1の技術を駆使して創りだした
フルカーボンマシン。

そんな彼の裏にある、無限の努力と
緻密な人生。

「山本浩之」にしかできない、貴重な
経験から生み出された人生を語る。

2019年 **7月6日** 土

入場無料
手話通訳あり・託児あり
(託児の申し込みは6月27日(木)締切)

日時 ▶▶ **中央公民館 大ホール** 開場 ▶▶ **13時30分**

開演 ▶▶ **14時** (16時頃終了予定) 定員 ▶▶ **400人** (事前予約不要・当日先着順)

問 社会教育課 社会教育係 ☎933-2600

共働事業提案 制度2次募集

町では、より暮らしやすい魅力ある
まちづくりを実現するため、町民活動
団体と町が共働で実施する公益的な
事業提案を募集する「宇美町共働事業
提案制度」の共働事業を募集します。
子育て支援、高齢者福祉、文化交
流、防災などさまざまな分野で、あな
たの自由なアイデアをまちづくりに
生かしてみませんか。

★共働事業提案制度の概要

- 対象となる団体
自主的に社会貢献性を持つ活動を行
う団体(当該活動により得た利益の分
配を目的としないものに限り)
- 経費の負担額
事業の実施に必要な総事業費の5分
の4以内を町が負担します(1事業
あたり30万円を限度とする)。
- 審査
実施団体は総事業費のうち町の負担
額以外の額(5分の1)を負担してい
た
だ
き
ま
す。

共働事業提案制度実施判定委員会に

において、申請団体は公開プレゼンテー
ションを実施していただきます。

●募集期間

6月17日(月)～7月12日(金)
※制度の詳細は、まちづくり課で配布
している「宇美町共働事業提案制度募
集要項」をご覧ください。

★共働ってなんでしょうか？

共働とは、さまざまな主体同士が、暮
らしやすい町を築いていくためにパ
ートナリシップを確立し、それぞれの責
務と役割を認識し合い、認め合い、尊
重しあい、対等な立場で、共に考え、共
に協力し、共に楽しみながら行動して
いくことです。

問 まちづくり課 共働のまちづくり係
☎934-12370

出前講座

「宇美商業高校で 出前講座を行いました」

問 選挙管理委員会 ☎932-1111

平成28年7月の参議院議員通常選挙から「18歳選
挙権」が導入され、これを契機に、毎年、主権者教育の
出前講座を宇美商業高校で行っています。

今年は明治大学文学部特任教授である藤井剛さ
んを招き、5月10日(金)に宇美商業高校の3年生約
200人を対象に行いました。

選挙で投票に行った方がいいことは分かっている
が、どのように投票先を決めて良いかわからないとい
う意見が多いため、各政党の政権公約やマニフェス
トを比較して投票先を決定するという実践的な内容で
行いました。

今年の夏には参議院議員通常選挙の執行が予定
されており、投票日までに選挙権を持つ生徒もいる
ため、強い関心を持って講座に臨んでいました。



▲生徒たちに講話する藤井特任教授